

2025 4

この一冊でギャラリーめぐりを満喫!

春の注目展×100

春展NAVI+イベントガイド

春展
NAVI

2025

月刊 美術

No.595

Since 1975



桜三日月 中島千波

ロレンツォ・フェルナンデス展

3月22日(土)～4月20日(日) 会期中無休

※作家来日レセプション3月22日(土)16:00～18:00

銀座

3月

ギャラリーためなが

東京都中央区銀座7-5-4

☎03(3573)5368

11:00～19:00/日～17:00

<https://www.tamenaga.com>

現実には
ありえない「リアル」



《美しさを超えて/ヴィーナスの誕生》 57×76cm 油彩、アクリル、パネル



《孤独への恐れ/ミノタウロス》 120×120cm 油彩、アクリル、パネル

ロレンツォ・フェルナンデス
1970年スペイン・マドリッド生まれ。14歳からバロック絵画を学び、1993年
コンセプチュアル・アートの第一人者ペドロ・カルヴァンに師事。スペインの
美術館のほか直島の地中美術館にも作品収蔵。

スペイン・リアリズムを代表するロレンツォ・フェルナンデスの東京では
4年ぶりの個展が開催される。伝統的バロック絵画技法をもとに独自のリア
リズムを確立。細部まで緻密に描かれた画面は写真のように見えながら、現

実にはありえない焦点の
ぼかしや複数の視点を組
み合わせた構図によって、
現実を超越した空間を生
み出している。今回はギ
リシャ神話にインスパイ
アされた作品など、一層ド
ラマチックでストーリー性
が際立つ新作を含む約40
点を展覧。日常の中に新
たな気づきやドラマを吹
き込む作品の数々を、ぜ
ひ会場で見たい。

ジャン・マリ・ザッキ来日展

4月12日(土)～5月2日(金) 休火・祝

ギャラリー桜の木

東京都中央区銀座4-3-6

G4 BRICKS BLD.7階

☎03(6228)6646

11:00～19:00

www.sakuranoki.co.jp

ジャン・マリ・ザッキ

1944年フランス領コルシカ島生まれ。パリの現代美術高等学校に学ぶ。84年サロン教育功労賞受賞。91年ル・サロン名誉賞受賞。99年ギャラリー桜の木銀座にて日本初個展開催。2001年国家功労勲章受賞。07年レジョン・ドヌール勲章シュバリエ芸術勲章受賞。

簡略化した具象表現によって本質をとらえ、自由を創造する絵画を追求し、画業60年を超えた現在も前進し続けるジャン・マリ・ザッキ。今回は6年ぶりの来日展となる。2001年国家功労勲章、2007年レジョン・ドヌール勲章、2018年芸術文化勲章を受章。ペインティングナイフによる何層もの色のグラデーションから生まれる無限の色彩と深いマチエールは、常に新鮮な驚きをもたらす多くのファンを魅了し続けている。ギャラリー桜の木創業40周年を記念して開催される今展では、光のプリズムを想わせるような花のモチーフや、画家の原点〈ザッキブルー〉によって描かれた故郷コルシカ島の風景や海景など最新作35点余を展覧。



《美德》
10号 油彩

銀座

4月

現代フランス絵画の巨匠が
来日展を開催

外山諒 日本画展

4月16日(水)～22日(火) 会期中無休

阪急うめだ本店
7階美術画廊
☎06(6361)1381

1994年愛知県生まれ。2019年愛知県立芸術大学大学院修了。翅先や触角の細部まで緻密に描かれる蝶。その姿に生きとし生けるものの命を重ね表現する。美しく舞う蝶に導かれるまま作品と向き合いたい。

《This world》
20M 日本画大阪
4月

まだまだあります。 春の注目& 話題展

日本画・洋画の展覧会を紹介します。

Part 1

櫻井伸也展
“SYMBOL - ROSA”

4月9日(水)～14日(月) 会期中無休

倉敷天満屋 4階 美術画廊
☎086(426)2145

1981年広島県生まれ。イタリア・トリノ在住。「愛や平和への希望」をテーマに色彩が画面から溢れ出てくるようなPOPな作品を展開。国外で実感する「広島」のイメージの違和感と、平和への祈りを画面に込める。今年開催される第20回世界パラ会議福山大会関連事業「Roseイメージの系譜」への参加にちなみ、薔薇モチーフの新作も展覧。

《ROSA 2025》
53×45cm 油絵具、樹脂倉敷
4月

李丹展

5月19日(月)～24日(土) 会期中無休

銀座中央ギャラリー第1
☎090(2919)8651《庭の唄》50F 岩絵具、木炭、銀箔ほか
(第9回石本正日本画大賞展奨励賞作品)銀座
5月

1997年中国西安生まれ。20年中国西安美术学院卒業。24年女子美術大学大学院入学。美術新人賞デビュー 2025奨励賞、公募日本の絵画 2024大賞受賞と活躍めざましい。今展は「日月輪転」をテーマに、昼と夜が交錯する時間の流れの中で、揺れ動きながらも成長を続ける「自愛」の姿を探求する。

ベルナルド・ビュッフェ展

3月29日(土)～5月6日(火・祝) 会期中無休

ギャラリーためなが大阪
☎06(6949)3434

20世紀の巨匠ベルナルド・ビュッフェ(1928～99)。1990年大阪梅田駅にビュッフェの巨大な蝶を出現させ、阪急三番街のシンボルマークのロゴも制作したビュッフェ。「EXPO2025大阪・関西万博」の開催にあわせて、初期から晩年までの30点を展覧。1940年代から50年代前半のグレーの時代から、鮮やかな色彩の80年代、本能のままに筆を走らせた晩年まで、画風の変遷を辿る。

《アレキサンダー三世橋とエッフェル塔》
146×114cm 油彩 1988年大阪
3月

舘山浩丈個展 光在る処

4月2日(水)～8日(火) 会期中無休

松坂屋上野店 7階 アートスペース
☎050(1782)1000

美術新人賞デビュー 2017入選。日本の原風景ともいべき新緑の渓谷や渓流を写実技法で描き続ける。涼気や緑風という言葉にふさわしい爽やかな作品 20点を展覧する。

《夢科大滝》
8F 油彩上野
4月